



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL <http://www.fukutsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務担当 (氏名) 桑本 聡 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	125,477	0.2	5,218	△12.7	5,946	△12.8	4,673	△1.1
28年3月期第2四半期	125,191	0.6	5,981	9.2	6,821	13.8	4,725	34.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,982百万円 (21.3%) 28年3月期第2四半期 3,284百万円 (△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.03	17.72
28年3月期第2四半期	19.36	17.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	409,290	221,968	53.6	892.99
28年3月期	404,787	220,322	53.9	879.47

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 219,222百万円 28年3月期 218,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,600	0.0	11,300	△14.0	12,400	△16.4	9,100	△8.3	37.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	278,851,815株	28年3月期	278,851,815株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	33,358,938株	28年3月期	30,702,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	245,517,537株	28年3月期2Q	244,110,165株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。
平成28年11月16日（水）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足踏み状態から一部には緩やかながらも明るさが見られるなかで、個人消費は物価の低下等から持ち直してまいりましたが、設備投資は企業収益の悪化から回復を実感できるほどの力強さはなく、引き続き先行き不透明なまま推移してまいりました。

貨物自動車運送業界におきましては、国内貨物輸送量が依然として低水準にあるなか、燃料価格の長期低迷から業者間競争は激化し、一方、長時間労働の規制強化による労働環境の改善など社会的責任の遂行はより厳格さが求められ、厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、国内輸送ネットワーク網の拡充を続け、一方では、マレー半島を中心としたクロスボーダートラック輸送を新たに開始するなど積極的に業容の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は1,254億77百万円（前年同四半期比0.2%増）となりましたが、営業利益は深刻な人手不足問題から人件費等が高み52億18百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常利益は59億46百万円（前年同四半期比12.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億73百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、8月に足利営業所（栃木県）を開設し、北関東エリアのサービスの強化を図るなど引き続き輸送網の整備に取り組んでまいりました。加えて、商業小口荷物のシェア拡大を図るため、航空便の積極的な活用など幹線輸送手段の多様化にも努めてまいりました。また、集配ドライバーが携帯するハンディターミナルに受領サインをいただくサービスなどシステムの高度化及びお客様とのE D I化の促進により、業務の合理化、効率化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,100億88百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は50億56百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

流通加工事業におきましては、付加価値の高いサービスの提供による新たなお客様の開拓と既存取引における業務の効率化を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は57億64百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は2億75百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

国際事業におきましては、国内ネットワークとの連携により、複合一貫輸送の拡大に努めた結果、通関事業は回復に転じてまいりましたが、フォワーディング事業は海上コンテナ市況低迷による運賃単価の下落や為替事情等により、大幅に収益が低下してまいりました。

以上の結果、売上高は28億95百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は1億24百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

その他事業におきましては、商品販売事業に加えて電気設備工事業も好調に推移しております。

以上の結果、売上高は67億29百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は18億26百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて45億2百万円増加し4,092億90百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少などにより流動資産が19億67百万円減少しましたが、建設仮勘定の増加などにより有形固定資産が78億42百万円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて28億56百万円増加し1,873億22百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定含む）が増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期末における純資産は、前連結会計年度末に比べて16億46百万円増加し2,219億68百万円となりました。これは主に、自己株式は増加しましたが、利益剰余金の増加などにより株主資本が18億3百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて17億85百万円減少し198億4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて67億15百万円増加(前年同四半期比149.9%増)し111億95百万円の資金収入となりました。これは主に、未払消費税等の増減額や減価償却費が増加したことによりります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて20億54百万円減少(前年同四半期比16.1%減)し107億2百万円の資金支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出や投資有価証券の取得が減少したことなどによりります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて37億36百万円減少(前年は15億95百万円の資金収入)し21億40百万円の資金支出となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が増加したことなどによりります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、国内景気は緩やかな回復基調に転じてまいりものと期待されますが、海外経済の減速懸念などにより民間設備投資にも足踏みが続き、依然として実感出来るほどの力強い回復には至らないものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、輸送需要が伸び悩むなか、ドライバーの高齢化と人手確保問題、安全管理や環境保全など克服しなければならない諸問題が山積し、厳しい経営環境が続くものと懸念されています。

こうしたなか当社グループでは、運送事業においては、商業小口荷物への更なる特化を目指すための輸送品質の向上、流通加工事業においては、お客様ごとの採算性を重視した営業活動及び国際事業においては、お客様の新規開拓と中国、東南アジア諸国での事業拡張に注力していくなど各事業において、業容の拡大と付加価値の高いサービスの提供に努めてまいります。これにより、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの満足度の向上に努め、収益構造の改善を図ることで企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上により、連結業績予想につきましては、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正致しました。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	254,700	12,900	13,700	9,200	37.68
今回修正予想(B)	254,600	11,300	12,400	9,100	37.06
増減額(B-A)	△100	△1,600	△1,300	△100	—

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、国際事業の新たな海外子会社としてE.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.の株式を取得したことによりE.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn.Bhd.、Chalim Warehouse Sdn.Bhd.及びE.H.Utara (Thailand) Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。また、福通パーセルサービス株式会社は平成28年6月1日付けで業務の効率化を図るため大蔵運輸産業株式会社と合併し、商号を福山パーセルサービス株式会社に変更しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,660	20,826
受取手形及び売掛金	33,990	33,170
繰延税金資産	1,984	1,870
その他	5,185	6,012
貸倒引当金	△62	△88
流動資産合計	63,758	61,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,587	217,362
減価償却累計額	△140,466	△142,828
建物及び構築物 (純額)	76,120	74,534
機械装置及び運搬具	70,447	74,999
減価償却累計額	△56,682	△59,969
機械装置及び運搬具 (純額)	13,765	15,030
工具、器具及び備品	13,229	13,210
減価償却累計額	△10,761	△10,964
工具、器具及び備品 (純額)	2,468	2,245
土地	189,541	190,468
建設仮勘定	11,048	18,506
有形固定資産合計	292,943	300,785
無形固定資産		
その他	5,314	5,319
無形固定資産合計	5,314	5,319
投資その他の資産		
投資有価証券	37,262	35,912
繰延税金資産	1,931	2,005
その他	4,254	4,186
貸倒引当金	△675	△710
投資その他の資産合計	42,772	41,394
固定資産合計	341,029	347,499
資産合計	404,787	409,290

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,888	17,334
短期借入金	10,400	10,571
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	11,320	9,550
1年内返済予定の長期借入金	13,101	21,830
未払法人税等	2,985	2,778
未払消費税等	1,537	1,900
繰延税金負債	14	2
賞与引当金	3,063	3,003
再開発費用引当金	1,866	1,866
資産除去債務	51	—
その他	11,890	10,887
流動負債合計	72,120	79,725
固定負債		
長期借入金	58,679	53,617
繰延税金負債	7,466	7,304
再評価に係る繰延税金負債	23,689	23,688
退職給付に係る負債	20,837	21,249
資産除去債務	483	486
その他	1,188	1,251
固定負債合計	112,344	107,596
負債合計	184,465	187,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	38,515	38,658
利益剰余金	117,435	120,871
自己株式	△14,327	△16,102
株主資本合計	171,934	173,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,077	12,180
土地再評価差額金	34,399	34,396
為替換算調整勘定	96	△19
退職給付に係る調整累計額	△1,269	△1,072
その他の包括利益累計額合計	46,304	45,485
非支配株主持分	2,083	2,745
純資産合計	220,322	221,968
負債純資産合計	404,787	409,290

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	125,191	125,477
売上原価	115,727	116,265
売上総利益	9,464	9,211
販売費及び一般管理費	3,482	3,993
営業利益	5,981	5,218
営業外収益		
受取配当金	569	540
その他	493	428
営業外収益合計	1,063	969
営業外費用		
支払利息	153	153
その他	70	88
営業外費用合計	223	241
経常利益	6,821	5,946
特別利益		
固定資産売却益	12	218
投資有価証券売却益	122	859
特別利益合計	134	1,078
特別損失		
固定資産除却損	37	33
減損損失	39	23
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	77	56
税金等調整前四半期純利益	6,878	6,968
法人税、住民税及び事業税	2,065	2,307
法人税等調整額	△20	△161
法人税等合計	2,045	2,145
四半期純利益	4,832	4,822
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,725	4,673
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,677	△899
為替換算調整勘定	8	△137
退職給付に係る調整額	119	196
その他の包括利益合計	△1,548	△840
四半期包括利益	3,284	3,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,180	3,856
非支配株主に係る四半期包括利益	104	125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,878	6,968
減価償却費	6,008	6,625
減損損失	39	23
引当金の増減額(△は減少)	△148	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	432	698
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,573	362
その他	△2,888	△1,227
小計	6,747	13,422
利息及び配当金の受取額	572	541
利息の支払額	△153	△159
法人税等の支払額	△2,687	△2,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,479	11,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,031	△11,026
有形固定資産の売却による収入	75	2
投資有価証券の取得による支出	△458	△38
投資有価証券の売却による収入	260	1,110
定期預金の預入による支出	△641	△588
定期預金の払戻による収入	639	637
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△917
その他	△601	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,757	△10,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	29,800	24,800
借入金の返済による支出	△26,000	△21,686
配当金の支払額	△1,205	△1,250
自己株式の取得による支出	△951	△3,402
その他	△46	△601
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,595	△2,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,673	△1,785
現金及び現金同等物の期首残高	25,751	21,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,078	19,804

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	109,799	5,709	3,034	118,543	6,648	125,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	4,144	4,144
計	109,799	5,709	3,034	118,543	10,793	129,336
セグメント利益	5,749	291	222	6,264	1,661	7,925

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,264
「その他」の区分の利益	1,661
全社費用(注)	△1,944
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	5,981

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は39百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	110,088	5,764	2,895	118,748	6,729	125,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	4,062	4,062
計	110,088	5,764	2,895	118,748	10,791	129,540
セグメント利益	5,056	275	124	5,456	1,826	7,282

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,456
「その他」の区分の利益	1,826
全社費用(注)	△2,063
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	5,218

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。

なお、報告セグメント以外の減損損失の計上額は23百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.の株式を取得し、E.H.Utara Holdings Sdn.Bhd.、UFA Utara Forwarding Agency Sdn.Bhd.、Chalim Warehouse Sdn.Bhd.及びE.H.Utara (Thailand) Co.,Ltd.を当社の連結子会社としたことにより、のれんが539百万円増加しております。